

平成24年度十和田市文化に関する表彰

この表彰は、文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、十和田市の誇りに値すると認められたかたや、永年にわたり、文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著であるかた、優れた文化の創造および普及活動を続け、市民の文化向上に寄与したかたに贈られます。



さとう まさあき
佐藤 允昭さん
(74歳・西十一番町)

昭和44年に十和田かばちえっぽ川柳吟社に入会、県内外の大会で活躍、青森県川柳大会の選者を務めるなど、川柳の普及、発展に貢献した。



ふじた みつあき
藤田 みつさん
(80歳・東三番町)

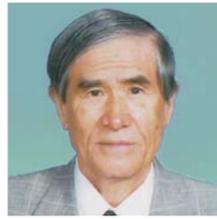
長年にわたり歌とアコーディオン演奏で各施設を訪問するなど、音楽の普及、発展に貢献した。



たかはし さちお
高橋 幸男さん
(74歳・三沢市花園町)

十和田フィルハーモニー管弦楽団、ジュニアオーケストラ十和田の設立、運営に参画。定期演奏会や市民文化祭をはじめ、ゼルコバアンサンブル代表として学校を訪問するなど、音楽の普及、発展に貢献した。

＊文化功労賞



ほんが よしひろ
藤谷 芳雄さん
(75歳・西十四番町)

日本版画院展など国内の版画展で優秀な成績を収め、国外の展覧会にも出品するなど版画の分野で特に著大な功績をあげ、版画の普及、発展に寄与した。

＊文化賞



おやまだ てつろう
小山田 鐵郎さん
(68歳・相坂字白上)

南部駒踊南部若駒会において、長年にわたり後継者育成に尽力するとともに、太鼓奏者として活躍するなど、伝統芸能の保存、普及に貢献した。



コールアゼリア (会長 **浜田 登美子**)

昭和38年にコーラス団体として発足、50年の長きにわたり定期演奏会や市民文化祭をはじめ、各種イベントに出演するなど音楽の普及、発展に貢献した。



こむら まなみ
小村 愛美さん
(舞扇 菖菊)

(47歳・三本木字千歳森) 舞踊家として、県内外で幅広く活動。各施設の訪問や、後継者の育成に努めており、今後さらなる活躍が期待される。



いわま ゆうこ
岩間 祐子さん
(66歳・東二十三番町)

ガールスカウト青森県第10団に所属し、県支部役員としてガールスカウト運動発展のために活躍。今後さらなる活躍が期待される。



さつき しげる
佐々木 茂さん
(70歳・稲生町)

アマチュア無線十和田クラブに所属し、公民館講座を通してアマチュア無線の普及に努めており、今後さらなる活躍が期待される。



むらき みち
村木 美智さん
(67歳・東二十一番町)

戸塚刺しゅうの技術を習得し、多くの展示会に作品を出品、県内外で後進の育成に努めており、今後さらなる活躍が期待される。

＊文化奨励賞

平成24年度十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があったかたや、広く市民の模範となるかたをたたえるものです。



さとう きいちろう
佐藤 喜一郎さん
(84歳・大沢田字大沢田)

統計思想の普及、消防の発展並びに民生の安定に貢献

昭和38年から現在まで49年余りの長きにわたり十和田市統計協会の役員として、会員獲得や調査員の資質向上のほか、地域においても統計調査の役割などを分かりやすく説明する啓発活動を行うなど、統計思想の普及に大きく貢献した。昭和25年の世界農業センサス調査を皮切りに、38年間にわたり国勢調査や事業所統計調査など各種統計調査に従事するとともに、指導員としても調査員への適切な指導を行うなど、本市の統計調査活動に尽力した。

そのほか、40年余り消防団員として、地域住民の生命財産の保護に尽くすとともに、長年にわたり民生児童委員として、地域住民の状況把握や適切な福祉サービスの情報提供を行うなど、本市の消防発展ならびに民生の安定に大きく貢献した。



あおもりけん すもうれんめいかみとうさん し ぶ
青森県相撲連盟上十三支部 (支部長 **櫻田 一雅**)

スポーツの振興並びに青少年の健全育成に貢献

昭和40年の支部発足以来、47年余りの長きにわたり全国選抜高校相撲十和田大会や学童相撲大会などの充実発展に尽力するなど、本市の相撲競技の振興発展に大きく貢献した。特に、全日本大学選抜相撲大会の青森県への誘致ならびに昭和45年第5回大会からの本市での継続開催に尽力してきた結果、「相撲のまち十和田市」の知名度アップはもとより、地域経済の活性化にも大きく寄与した。また、各種大会の運営補助や、子どもたちを対象とした相撲教室の開催などにより、本市の小中高校生などの輝かしい活躍に寄与しているほか、相撲競技を通して多くの市民へ楽しみを与えるとともに、「相撲のまち十和田市」を全国に向け広く発信するなど、青少年の健全育成ならびに本市スポーツの振興発展に大きく貢献した。



おやまだ たえこ
小山田 妙子さん
(84歳・相坂字相坂)

更生保護活動、社会福祉の向上並びに民生の安定に貢献

昭和48年から約34年の長きにわたり十和田地区更生保護女性会の役員として、更生・矯正施設の慰問や犯罪予防のための更生保護活動に尽力した。その間、会長を10年間にわたり務め、会員の資質向上のための研修会開催や、犯罪および非行の未然防止に向けた啓発活動のほか青少年の保護育成などに大きく貢献した。

また、28年の長きにわたり保護司として、罪を犯した人などの更生のための援助や相談、社会復帰に向けた活動など、地域社会環境の浄化に大きく貢献した。

そのほか、27年の長きにわたり民生委員として、一人暮らし高齢者をはじめ、援助を必要とする市民への助言、相談活動に尽力するなど、社会福祉の向上ならびに民生の安定に大きく貢献した。



やまざき せいいち
山崎 誠一さん
(68歳・元町西二丁目)

農業の振興、消防の発展並びに青少年の健全育成に貢献

昭和54年に十和田市農業委員会委員に当選して以来33年余りの長きにわたり、本市の基幹産業である農業振興に寄与した。その間、会長として8年間にわたり、優良農地の確保や担い手の育成・確保など、安定的農業経営の確立に努めるとともに、平成17年の新市農業委員会の誕生に尽力するなど、本市農業・農村の発展向上に大きく貢献した。

また、41年余りの長きにわたり、消防業務に精励するとともに、市消防団長を務めながら地域住民の生命財産の保護に尽くし公益と民生の安定に寄与するなど、本市消防の発展に大きく貢献した。

そのほか、市子ども会育成連合会長や市連合PTA会長、県PTA連合会長などの要職を歴任し、青少年の健全育成に大きく貢献した。